



生徒が元気！ 教師が元気！ 学校が元気！

元気通信

【校訓】
研鑽
剛健
敬愛

都城市立庄内中学校
学校通信 第7号
令和4年10月31日

10月末を迎え、さわやかな秋晴れの日が続いています。学校では、学習のまとめとして行われる各種テストに向け、「学びの確かめ」や「学習の振り返り」の時間の充実を図っているところです。また、教育相談や進路相談も行われ、学校生活での意欲の向上に努めているところです。

1年生 「イギリス」について学ぶ。



10月14日（金）は、1年生がSETの時間（総合的な学習の時間）に国際理解講座を開きました。講師は、宮崎県庁国際交流員のギャロウェイ・エイリーさんでした。イギリスは4つの王国が集まってできている国で、その中のスコットランドの出身であることを紹介されました。それぞれの王国には「旗」があることやいろいろと習慣が違うこと、また、日本と似ていることなどを、画像を使って詳しく話してくださいました。生徒の皆さんは大変興味を持ち、いろいろな質問をしながらエイリーさんに親しみを感じていたようです。最後に、庄内のおすすめポイントとして「関之尾の滝」を紹介したところ、実際に見物に行かれて、とても感動されたようでした。1年生はこれからさらに外国にも関心を持ってくれることを期待します。



10月20日（木）は、生徒会役員及び全校専門委員会委員の退任式・任命式を行いました。これまで生徒会役員・専門員として多くの行事や委員会活動でリーダーシップを発揮し、全生徒をまとめ、記憶に残る活躍をしてくださいました。そのことをこれからのメンバーも目標にして頑張ってくれると信じています。新しい役員は、生徒会長2年児玉百幸さん、副会長2年猿澤豪希さん、2年松浦茜さん、書記・会計1年多田悠士朗さん、1年外山瑠菜さん、全校学習委員長2年高瀬心彩さん、副委員長1年岩元蒼奨さん、全校生活美化委員長2年清水聡太さん、副委員長1年原田丈さん、全校文化委員長2年平野杏莉さん、副委員長1年今城美宥さん、全校給食委員長2年時任紗楓さん、副委員長1年城村向日葵さん、全校保体委員長2年中村孝正さん、副委員長徳丸凜歌さんです。校長先生がリーダーシップとメンバーシップについて話されました。誰もが主体的に考え動いてこそ庄内中の伝統が築けると思います。新しい庄内中の風を大いに吹かせてください。

新しい生徒会・全校専門委員会が発進！！

10月20日（木）は、生徒会役員及び全校専門委員会委員の退任式・任命式を行いました。これまで生徒会役員・専門員として多くの行事や委員会活動でリーダーシップを発揮し、全生徒をまとめ、記憶に残る活躍をしてくださいました。そのことをこれからのメンバーも目標にして頑張ってくれると信じています。新しい役員は、生徒会長2年児玉百幸さん、副会長2年猿澤豪希さん、2年松浦茜さん、書記・会計1年多田悠士朗さん、1年外山瑠菜さん、全校学習委員長2年高瀬心彩さん、副委員長1年岩元蒼奨さん、全校生活美化委員長2年清水聡太さん、副委員長1年原田丈さん、全校文化委員長2年平野杏莉さん、副委員長1年今城美宥さん、全校給食委員長2年時任紗楓さん、副委員長1年城村向日葵さん、全校保体委員長2年中村孝正さん、副委員長徳丸凜歌さんです。校長先生がリーダーシップとメンバーシップについて話されました。誰もが主体的に考え動いてこそ庄内中の伝統が築けると思います。新しい庄内中の風を大いに吹かせてください。



庄内地区戦没者慰霊祭

10月18日(火)に、庄内地区忠霊塔で、戦没者慰霊祭が行われました。地域の遺族会や関係団体の関係者が参集され、追悼の言葉を述べられたり、献花などをされたりしました。庄内中からは生徒代表2名が「平和へのメッセージ」を寄稿し、代表の方に読んでいただきました。現在の国際社会の状況を鑑みると、強く平和を願わなければなりません。下記のメッセージを皆さんにも読んでもらい、一緒に考えていきましょう。

『戦没者慰霊祭の平和へのメッセージ』 生徒会 児玉百幸

1945年8月15日、終戦。それから77年目の秋を迎えました。今の私たちは、衣食住が整っており、何不自由なく平和な生活を送ることができています。今となつては普通の事ですが、昔の日本ではそうではありませんでした。昔は激しい戦争が続き、食料や生活に必要な物が手に入らなかつたり、安全で安心できる生活が送れていませんでした。私たちは戦争を経験していません。だから、こういった戦争時の辛さや苦しさを全て感じることはできません。しかし、今の人々はもっと戦争について知り、考え、平和への思いを後世につないでいかなければいけないと思います。

私は1年生の時の調べ学習や、社会の授業などで、戦争についてたくさん学ぶことができました。調べ学習の中で、私は特攻隊などについて調べました。特攻隊はとても危険な任務で、死を覚悟して戦いに臨む人がほとんどだったそうです。その人たちの遺書の中には、「お国のために誠心誠意頑張っていきます。」「家族を守るために戦います。」などの言葉が多く書かれていました。命は尊いものでたった1つしかありません。それを若くして無くしてしまうということを考えると、とても心が苦しくなりました。私はこの調べ学習を通して命の大切さを学びました。もし先人の努力がなかったら、今の日本も私もどうなっていたのかわかりません。戦争について調べることで、残酷さを知るだけでなく、色々なものへの感謝の気持ちを持つことができました。

また、日本は世界で唯一の被爆国でもあります。今年の8月9日11時2分、私は部活動の練習中にサイレンの音を聞きました。77年前の長崎に原子爆弾が落とされた日です。もし今、日本の都城に原子爆弾が落とされたらどうなってしまうのだろう。きっと、苦しくて耐えられないだろうと思います。家族や大切な人が、目の前から一瞬で消えてしまうのが戦争や原子爆弾の怖さです。今の日本はとても平和ですが、ロシアによるウクライナ侵攻のように突然戦争が始まるかもしれません。それは今年の2月24日に突然始まり、7ヶ月たった今も、まだ続いています。男性は次々と軍隊に入り、終わりも見えない中、戦う毎日。女性や子どもは、いつ何が起こるか分からず怯える毎日。家も家族も何もかも失ってしまった人々。テレビのニュースを見るたびに胸が痛くなります。日本に直接被害はありませんが、資源価格が高騰し、日本の経済に大きな打撃を与えています。

戦争が起こると、色々な国に影響が出てきます。世界中の人々が笑って過ごせる日常を取り戻したいです。そして、平和で戦争のない国をつくることが私達国民の使命だと思います。

『戦没者慰霊祭の平和へのメッセージ』 生徒会 乙丸 蓮太郎

僕が今住んでいる庄内地区でも戦争があったのだと思うと、とても驚くとともに、平和な社会に生きていることに感謝したいと思いました。

僕は、戦争と聞いて思い出すのは、曾祖父です。僕の父方の曾祖父は、戦争に行つて帰ってきませんでした。でも、曾祖父に会う方法が1つあります。それは、お墓に行く

ことです。このように戦争の体験は親子の中で語り継がれていきます。その中で、戦争の悲惨なイメージは薄れていきますが、心の中には「戦争」という言葉が残ります。僕は「戦争」という言葉を後世に伝え、起こしてはならないものだとして強く訴えることで戦争を無くしたいです。

しかし、今現在も行われている戦争があります。有名なものは、ウクライナとロシアの戦争です。毎日ニュースで取り上げられています。銃撃戦が行われている音や爆弾が落ちた音、戦車で戦っている映像を見たり聞いたりすると、とても心が傷つきます。だから、この平和な日本から平和の大切さを発信していきたいと思います。一人一人が、平和が大切だと意識することが、世界の恒久平和に繋がると 생각합니다。それが、実現したときに、戦争で亡くなられた世界中の人々や平和を願った世界中の人々の気持ちが報われるのだと思います。

10月25日は、**都城地区中学校総合体育大会駅伝競走大会**が三股町で行われました。陸上部だけではなく、野球やバスケットボール、バドミントンなどの競技経験者も選手として出場しました。結果は、男女ともに2位で、11月14日(月)宮崎市で開催される宮崎県大会に出場します。また、10月27日(木)**都北中学校音楽大会**が、都城市総合文化ホールで行われました。全校生徒の中から選抜された50名が参加し、「夏の思い出」と「結」を演奏しました。歌う前の学校紹介は坂元美由紀さん、指揮は松永朋樹さん、伴奏は岩元伶音さん、田中萌々珂さんが行いました。途中パフォーマンスを交えながら、聴く人の心に響く、大変すばらしい合唱でした。さらにあいさつや態度もよく庄内中学校のよいアピールができました。

参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。



〈今後の行事〉

11月	4日	3年入試要綱説明会 高校説明会	12月	1・2日	2年みやざき学習状況調査
	9日	1年県英テスト		4～6日	2年修学旅行
	16日	月1読書		4日	1・3年授業日
	17・18日	期末テスト		7日	振替休業日
	24日～	3年三者相談		8日	避難訓練
				9日	参観日・学校保健委員会
				14日	月1読書
				23日	終業式

※ 何か不安なことがあったら次の相談窓口へ電話をかけ、相談することができます。
 ○ 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310 ○ ふれあいコール 0985-38-7654 0985-31-5562